

京の ほんまもん

講座

2018

京都からの
お福分け

「京のほんまもん講座2018～京都からのお福分け」は、京都アカデミアフォーラムin丸の内に加盟する大学が連携を図り、大学教員と京都の文化人がコラボレーションを通じて、京都の伝統文化・芸能をお伝えするセミナーです。関東では普段聞くことのできない京都のほんまもんの講師陣が京都の日常の営みをご紹介します。京都の伝統文化・芸能に関心を示していただく機会につながることを期待いたします。

「京都の狂言文化と茂山忠三郎家」

京都橘大学主催

2018年 **8月24日** 

14:00 - 15:30

参加申し込み締め切り：8月22日(水)

第一部

講演：茂山忠三郎氏（能楽師大蔵流狂言方/京都橘大学客員教授）
「京都の狂言文化と茂山忠三郎家」

聞き手：林久美子（京都橘大学文学部日本語日本文学専攻教授）

第二部

●参加者との狂言ワークショップ

「京都アカデミアフォーラム」In丸の内とは

京都外国語大学、京都光華女子大学、京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都女子大学、京都精華大学、京都橘大学、京都美術工芸大学、同志社女子大学、京都大学が連携し、京都の文化・芸術・科学について「学術面から情報発信する場」として広く一般に認知されることを目指し、京都の魅力や価値を高めることを目的とした場の総称です。

京都アカデミアフォーラムin丸の内の
新丸の内ビルディング10F



問い合わせ先

京都アカデミアフォーラム事務局（南・植田）

Tel : 075-753-7578

Mail : kyoto-academia-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

参加申し込みURL

<http://www.kyoto-af.jp/honmamom2018/>



続きは裏面へ



■ 「京都の狂言文化と茂山忠三郎家」

京都の狂言で、思い出し笑いをしてしまうような夏を

江戸時代に起源をもつ、大蔵流狂言。その大蔵流の名跡を継ぐのが、京都の茂山忠三郎家です。

8月の「京のほんまもん講座」では、五世茂山忠三郎氏（本学客員教授）による、“思い出し笑いをしてしまうような”狂言の世界へ、みなさんを誘います。

茂山忠三郎家は、<<含みのある狂言>>を理想としています。観客の心に残り、思い出し笑いをしてもらえるような狂言。それが茂山忠三郎家が目指す狂言です。

そんな茂山忠三郎家の狂言が、東京・丸の内丸ごと味わえる。狂言なんて見たことない、というあなたも、狂言ファンのあなたも。にぎやかな夏のひと時を過ごしましょう。

■ 日時 2018年8月24日（金） 14：00～15：30（受付13：30）

■ 場所 京都アカデミアフォーラムin丸の内会議室 C・D
（東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階）

■ 定員 60名

■ 参加費 2,000円

■ スケジュール

13：30～14：00 受付

14：00～14：40

第1部

講演「京都の狂言文化と茂山忠三郎家」

茂山忠三郎（能楽師大蔵流狂言方/京都橘大学客員教授）

聞き手：林久美子（京都橘大学文学部日本語日本文学教授）



茂山忠三郎

茂山 忠三郎家、四世忠三郎の長男。父に師事。4歳にて「伊呂波」のシテで初舞台を踏み、その後「釣狐」「三番三」「花子」「狸腹鼓」など秘曲、重曲を披く。

2017年五世茂山忠三郎襲名。海外への芸術文化交流にも力を入れアメリカやヨーロッパなど海外公演も多い。



林久美子

京都橘大学文学部日本語日本文学教授。
大阪市立大学大学院 文学研究科 国文学専攻 博士課程修了（文学）
専門は、日本近世演劇・文学。
日本の古典芸能に造詣が深く、関連著書も多数。

14：40～15：30

第2部

大蔵流狂言の特徴を知るワークショップ

■ 今後の予定（同志社女子大学・京都市立芸術大学のご案内）

時期	日付曜日	主催	定員	タイトル	講演者
9月		同志社女子大学		調整中	
11月		京都市立芸術大学		調整中	